

Y A

第29号

ヤングアダルト



第29号 2022年12月 発行

合志市立図書館

<http://www.koshi-lib.jp/>

特集：共に生きる

私たちは、あらゆる生きものに
支えられて生きている

- オトナって??
- みんなどんな本読んでる?
- 新刊のご紹介



動物はパートナー



ペットと一緒に暮らしていた、暮らしている、これから暮らすすべての人へ



『犬部！北里大学獣医学部』 キミノベル版

片野 ゆか / 作 (ポプラ社)

動物保護サークル「犬部」がおくる青春と命を守る責任を問う物語です。獣医師を目指す部員が行き場を失った動物たちを救うため奮闘します。2021年に映画版も公開されました。



『星守る犬』

村上 たかし / 原作 原田 マハ / 著 (双葉社)

病気をきっかけに仕事と家族を失った中年男性と愛犬の最期の旅行は、哀しくも愛に満ちていました。孤独な飼い主に寄り添い続けた愛犬ハッピーの健気な姿に胸を打たれます。



『ハルの日』

渡辺 眞子 / 文 (復刊ドットコム)

動物の命の大切さを伝える絵本です。
ペットは何があっても家族を信じ、愛し続けます。



～こちらもおすすめ～

- ・『デューク』 江國 香織 / 文 (講談社)
- ・『さくら』 西 加奈子 / 著 (小学館)
- ・『ソウルメイト』 馳 星周 / 著 (集英社)
- ・『そっと いちどだけ』 なりゆき わかこ / 作 (ポプラ社)



いきものありがとう

地球上のすべての生きものに感謝！



『ミツバチの本』

シャーロット・ミルナー／作・絵 佐々木 哲彦／監修
(合同出版)

ミツバチは人間にはちみつをくれるだけでなく、
色々な野菜や果物の収穫も手伝ってくれます。
ミツバチは本当に大事な昆虫なのです。



『めちゃうま！？ 昆虫食事典』

内山 昭一／監修 大串 ゆうじ／絵 (大泉書店)

未来の食料危機を救うのは昆虫食??
昆虫は短期間で成長し、様々な面で、とてもエコです。
世界中でおいしく食されています。



『チェスターとガス』

ケイミー・マガヴァン／著 西本 かおる／訳 (小峰書店)

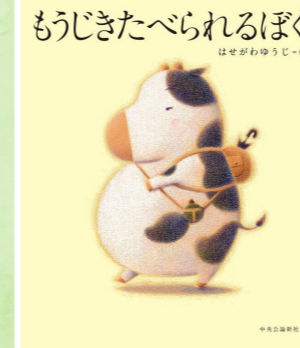
一般家庭にペットとしてやって来た犬チェスターが
自閉症の少年ガスと出会いパートナーになります。
アメリカでは実際に多くの補助犬が人々を支えています。

～こちらもおすすめ～

- ・『びっくり深海魚』～世にも奇妙なお魚物語～ 尼岡 邦夫／著 (エクスナレッジ)
- ・『かいくんとセラピー犬バディ』 井上 こみち／文 (国土社)
- ・『ニワトリと暮らす』 増補改訂版 和田 義弥／著 (グラフィック社)

いのちはめぐる

多くの生きものたちに支えられて今がある
～過去から今に・・・そして未来へ～

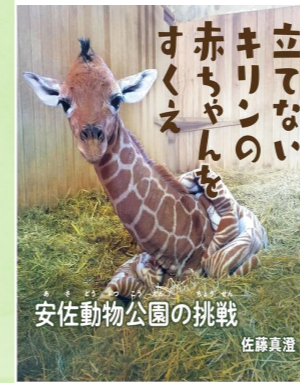


『もうじきたべられるぼく』

はせがわ ゆうじ／作 (中央公論新社)

うしのぼくは、もうじき食べられてしまう。

悲しい運命を受け入れたぼくが向かった先は...お母さんのところ。



『立てないキリンの赤ちゃんをすくえ』 ～安佐動物公園の挑戦～

あさ
佐藤 真澄／作 (静山社)

2020年4月9日に生まれたキリンの赤ちゃんは、立つことが
できませんでした。助けるための広島安佐動物園の奮闘記。



『絶滅危惧の野鳥たち』

大室 清／著 (文一総合出版)

私達を取り巻く環境が地球規模で汚染されてきています。
今、絶滅の危機にある日本の鳥は98種。
そんな日本各地の野鳥たちを描いた画集です。



～こちらもおすすめ～

新たな生命の始まりと終わり・・・動物病院のおはなし

- ・『竜之介先生、走る！』 片野 ゆか／作 (ポプラ社)
- ・『動物の看護師さん』 保田 明恵／著 (大月書店)

他にも・・・

- ・『教えて！マジカルドクター』 大塚 篤司／著 (丸善出版)



いきもの 番外編



いきものってスゴイ!! まだまだ知らないことだらけだね



『ダマして生きのびる虫の擬態』

海野 和男 / 写真・文 (草思社)

まね
○○のふりをする・まぎれる・目立たないようにする・真似をする・驚かせる...進化のすごさと虫の世界のきびしさに驚かすにはられません。豊富なカラー写真で紹介してあります。



『消えたレッサーパンダを追え!』 ~警視庁「生きもの係」事件簿~

たけたに ちほみ / 文 (学研プラス)

警察に生きもの係!? 盗難・密売・密輸・密猟...かぎりなく起こる事件。はたして犯人をつかまえ生きものを無事に保護できるでしょうか。生きもの係は全国各地の現場で今日も奮闘中。



『ウマと話すための7つのひみつ』

河田 棧 / 文・絵 (偕成社)

よなくじま
動物と話ができたらいいな...と思う人は多いはず。著者が与那国島でウマと暮らす生活の中でみつけた「馬語」の秘密とは?



~こちらもおすすめ~

- 『生きものの持ちかた』 松橋 利光 / 著 (大和書房)
- 『ゆるゆる生物日誌』 種田 ことび / 著 (ワニブックス)
- 『いきもの寿命ずかん』 新宅 広二 / 著 (東京書籍)
- 『なるほど! 魚の漢字』 木村 義志 / 監修 (学研プラス)

オトナって??

2022年4月から成年年齢が18歳になりました

「オトナ」になっていくことで変わることも変わらないことってなんだろう



『読んでみない?からだのこと。』

明橋 大二 / 監修
高橋書店

自分らしく生きるために知っていてほしいことや、ほかの人に聞きにくい悩みの解決法など、まんがやイラストをまじえながら教えてくれます



『これから大人になる君たちへ』

池上 彰 / 監修
KADOKAWA

大人と子どもの境界線とは? 幸せに生きていくためのヒントやお金・仕事・政治など、生きていくために最低限知っておくべきことをわかりやすく紹介してあります



『生き物が大人になるまで』

稲垣 栄洋 / 著
大和書房

様々な生き物の成長とともに、私たち人間にとっての成長=「大人になる」も考えてみましょう



Vol.2 もあります

『素敵なオトナ図鑑』
山口 克志 他42名 / 著
アメージング出版

ほかにも吉本ばななさんの本など、ご紹介したい本がたくさんあります。YAコーナーに置いてあるのでみてくださいね!



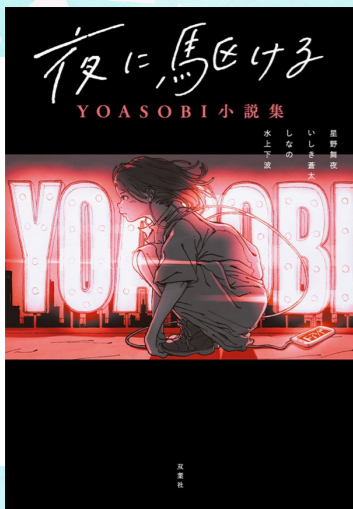
『大人になるって
どういうこと?』
神内 聡 / 著
くもん出版



『生きるために必要な
「法律」のはなし』
木村 真実・高橋 麻理
志賀 野歩人・青木 美佳
/ 監修
ナツメ社

みんなどんな本読んでる？

「令和4年度 わたしのすすめる本・本の帯入选作品集」の中から小学生・中学生がおすすめしてくれた本を紹介します



『夜に駆ける YOASOBI小説集』

著：星野 舞夜／いしき 蒼太／しなの／水上下波
(双葉社)

YOASOBIの楽曲『夜に駆ける』『あの夢をなぞって』『たぶん』および未発表曲の原作小説4作を収録。



『お探し物は図書室まで』

著：青山 美智子 (ポプラ社)

あなたが本当に探しているものを図書室で探してみませんか。司書さんが一風変わった選書で、相談者の背中をおしてくれま

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

著：汐見 夏衛 (スターツ出版)

家を飛び出した中2の百合。目をさますとそこは戦時中の日本だった。

『空色DAYS』

作：望月 麻衣 (ポプラ社)

つらくなって転校したユイを待っていたのは、思わぬ言葉とあたたかい仲間だった。

新刊のご紹介



『25センチの恋とヒミツ』
神戸 遙真 / (偕成社)



『マスク越しのおはよう』
山本 悦子 / 著 (講談社)



『ミステリー部が謎を解かせてもらえない』
ささき かつお / 著 (PHP研究所)

～募集中～

YA新聞では、日ごろ思っていることやおすすめの本、イラストなどを募集しています。「YA新聞」とご記入のうえ、西合志図書館・ヴィーブル図書館・泉ヶ丘市民センター図書館にそれぞれ設置してある『伝えたい』の箱に入れて下さい。またYAコーナーやYA新聞へのご意見・ご感想もぜひお待ちしております。